



広島国際学院中学校

〔所在地〕安芸郡海田町曾田1-5
 〔TEL〕(082)823-3401
 〔校長名〕森崎恒夫
 〔ホームページ〕http://www.j-hi.hkg.ac.jp/

令和2年度 生徒募集要項

●募集人員 80名(男女)

●試験日・試験科目

〔入試Ⅰ〕特待生入試

1月7日 国・算・理・社・面接

〔入試Ⅱ〕適性検査型入試

1月11日 適性1、適性2・面接

●試験科目・配点

〔入試Ⅰ〕		〔入試Ⅱ〕	
国語	50分 100点	適性1	50分 100点
算数	50分 100点	適性2	45分 100点
理社	60分 100点	合計	95分 200点
合計	160分 300点		

専願受験者:入試Ⅰは15点、入試Ⅱは10点の加点

入試Ⅰ、Ⅱの両方受験者:入試Ⅱに10点の加点

●面接

〔入試Ⅰ、入試Ⅱ〕入試Ⅰで面接済みは入試Ⅱではなし

面接形式 グループ面接(3名)

面接時間 約5~7分 面接の先生 2名

質問内容 志望動機、中学生活に臨む決意、将来の目標等

●合否判定 学力検査、面接、調査書

●合格発表

〔入試Ⅰ〕1月8日 〔入試Ⅱ〕1月12日

学校情報

〔教育宣言〕

生徒全員に**圧倒的な経験値**を積み重ねながら、生徒1人ひとりの適性を見据えた指導を行う『**新時代型教育**』を実践することによって、知識・技能に加え、思考力・判断力・表現力や主体性も深く問われる**大学入試改革**に対応できる学力と人間力を兼ね備えた**グローバル教養人**を育成します。

〔21世紀型能力を育てる学び〕

・高度な受験力の養成

平日7時間、土曜日4時間の「週39時間」授業。

「問題発見⇒協働⇒発信」型の授業展開を取り入れ思考・判断・表現力を徹底的に鍛える。

中学校の途中から、主要教科は2コースに分け、習熟度別の授業展開。高校1年次の途中から以下の3コースに分かれ、目標とする大学に合わせた授業展開。

ハイグレード:旧帝大、国立医学部医学科

インテンシブ:難関私立大学

アドバンス:地方国立大学、中堅私学

・生きる英語力の育成

4技能「読む・聞く・話す・書く」を多角的にトレーニングする。中学卒業までに英検準2級以上の取得を目標とする。オンライン英会話、海外研修、海外留学を基に「生きた英語」を身につけ、発信・傾聴力を高める。

・広範なプログラミング教育

総合学習の時間を利用して、論理的に考えるプログラミング的思考力の習得とプログラミング言語の実践利用を目指す。さらに、IoT実験室を活用し実生活の課題解決に向けて行動する創造性を育てる。生徒全員にタブレット端末を導入。

・豊富な体験学習＝百戦錬磨＝

毎年週5時間の総合学習の時間を利用して、アウトドア体験、日本文化体験、アカデミック体験、グローバル体験、ボランティア体験、空手道の授業等多くの体験を通して、挑戦する強い心＝人間力＝を育てる。

中学3年生の最後には集大成として、「問い⇒仮説⇒調査⇒結論⇒発表」の流れで8000字の「卒業論文」と7~10分間のプレゼンテーションにチャレンジする。

〔育てたい学力と人間力〕

学 力	人 間 力
知識・技能	道徳・倫理観
論理的思考力	利他の心
批判的思考力	協働性
発信・傾聴	創造性
問題解決力	冒険心

(広島学習館:泉)

平成31年度 入 試 結 果

入試・テスト結果

	〔入試Ⅰ〕	〔入試Ⅱ〕
●受験者数	120名	105名
●合格者数	35名	33名
●入学者数	10名	17名

入試Ⅰ:難易度が高く、文章記述問題も多い。

入試Ⅱ:県内の適性検査レベルを超え、難易度は高い。

●合格者平均点

	〔入試Ⅰ〕	〔入試Ⅱ〕
国語	63.4点	適性1 51.1点
算数	63.2点	適性2 39.5点
理科	25.4点	合計 90.6点
社会	17.7点	
合計	169.7点	

奨学生・学資支援制度

本校独自の学資支援制度や奨学金、成績優秀者に対するⅠ種、Ⅱ種の奨学生制度が整備されています。

(スクールバス:海田市駅⇄国際学院中学校)